



五中だより

府中市立府中第五中学校

校長 酒井 泰

平成30年6月28日 No.3

SNS等の利用について

2年前、府中市立中学校11校の生徒会本部役員が一堂に会し、制定した「SNS 府中市生徒会行動宣言」があります。

SNS 府中市生徒会行動宣言

私たち府中市立中学校の生徒一人一人は、SNSや情報端末を適切に使い、誰もが安全に、安心して、充実した中学校生活を送るために、ここに「SNS 府中市生徒会行動宣言」として宣言します。

OSNS 決めて守ろう 使用時間

○言葉を選び、相手への思いやりの心を送信しよう

○相手の気持ちを考えよう 言葉は感情 文字は記号

○知と フィルタリング 壁 を駆使して守れ 自分の身

○本当にそれで大丈夫？ 言葉・画像・時間・場合の 本当にそれで大丈夫 H S D

OSNSの利点と欠点を理解して上手に活用しよう

府中第五中学校では、この行動宣言を受け、五中独自のルールとして生徒会が中心となって「SNS五中ルール」が制定されました。

<SNS五中ルール>

- 1 フィルタリングの有無を確認しよう
- 2 使用時刻の目安は、22時まで
- 3 送る前に内容と送信先の確認をしよう

現代社会では、SNSをはじめとするインターネット環境と関わらずに生活することは、困難な時代となっています。学校でも調べ学習でインターネットを活用し情報収集することが当たり前となっています。利用上のルールやマナーを守ることによって本当に便利で有益なものとしてなくてはならないものとなっています。しかし、世の中全てのことには、「光と影」「正と負」の面があります。使い方を間違えると人を傷つけたり、損害を与えたり、自分も被害を被ったりすることがあります。

先日、保護者の皆様あてに「自画撮り被害等の防止に向けた指導の徹底について」という通知を参考資料とともに配布させていただきました。これは、最近、市内中学校において自らの裸をスマートフォンで撮影し、SNS等で送信することによるトラブルや被害に遭う事案が発生していることを受け、各ご家庭で、改めてスマートフォンや携帯電話等の使い方のルールを確認していただくとともに、被害防止の徹底をお願いするものです。

この通知を配布した直後の朝礼で私から、「この通知を受けて、保護者の方とSNSの利用の仕方などについて話をしたかどうか」を聞いてみました。残念なことですが、一人も手

挙げない学級がありました。繰り返しになりますが、SNS等に起因するトラブルは多く発生しています。「自分は大丈夫」ではなく、「自分も危険と隣り合わせである」という気持ちを強くもち、「SNS 府中市生徒会行動宣言」及び「SNS 五中ルール」を参考に具体的な対応について、ご家族皆さんで話し合っていたいただきたいと思います。



自ら考え・行動する力を身に付ける

朝、テレビの天気予報で「午後から弱い雨が降りますので、今日は折り畳みの傘を持っていくとよいでしょう。また、洗濯は部屋干しがよいでしょう。」とか、「少し気温が下がるので、上から羽織る薄手の上着を持っていくとよいでしょう。」などとキャスターが話していました。また、電車のホームでは、「スマホを操作しながらの歩行は危険です。まわりの人と接触し、トラブルの原因となることもあります。」などの注意喚起の放送も聞き慣れたものとなっています。

このように私たちは、常に誰かからの助言や指示を受けて生活しています。このことは、何も疑問を感じる必要もないことで、むしろとても親切なことで捉えることができます。しかし、これに知らず知らずに慣らされてしまうと、いくら自分で考えることが大切といってもつつい指示待ちになってしまうことが危惧されます。つまり、必要なことは誰かが言ってくれるという受け身の姿勢になるのではないかということです。そんなに大げさに考えることではないかもしれませんが、私が昔、ある新聞で読んだ記事に次のような内容が掲載されていましたので、ご紹介させていただきます。

イギリスで地図を持っていたのにも関わらず、道に迷った旅人がいて、通りかかった老人に、自分の行きたい目的地を伝え、「どのように行ったらよいのか」を尋ねたそうです。

あろうことか、その旅人は自分が持参していた地図の枠の外にいたため、いくら地図を見ても自分の位置を確認することすらできずにいたのです。老人は「今、あなたはこの地図の枠外にいる。この道を真っすぐ行くとこの地図の端っこの、この場所に行くことができる。そこからはあなたの持っているこの地図を見て自分で探さない。」と言ったそうです。

「えっ、途中までしか教えてくれないの?」「知っているのに、最後まで教えないなんて、なんで不親切な人」と思ったとのこと。しかし、あとで冷静になって考えたときに、最後まで教えることは簡単だけれど、地図を読むことができるのだから、地図上の自分の位置さえ教えれば、あとは自分で判断できるはず。最後まで、教えることはむしろ失礼なことと思ってくれたのだと気付いたそうです。老人の本当の思いはわかりませんが、これを教師の立場で考えると、どこまで教えて、どこからは自分で考えさせるべきかという、指導上の工夫を考える契機になります。

ご家庭では、つい言いがちな「早くしなさい。それが終わったら次はこれをやりなさい。そして次は〇〇をやらなさい。やらなければならないことがたくさんあるんだから、のんびりしていないで、早くやりなさい。」との声かけに、「うるさいなあ。言われなくてもやるよ。今、やろうと思っていたんだよ。」との言葉が返ってくることがあるのではないのでしょうか。その言葉に、つい、「思っていたんだったら言われる前に自分で計画してやりなさい。」と返してしまい、互いに気まずい雰囲気になることもあると思います。こうしたやり取りからどのようにすれば脱却できるのでしょうか。簡単に画一的な答えはないと思いますが、一方的にこれをやりなさいと指示的になるのではなく、自分ではどうしようと考えているのか、どうしなければならないと思うのかを話させることが大切なのではないかと思います。心配からくる注意が子供にとって大人からの一方的な指示にならないような声かけが求められていると思います。



今年度の運動会について

今年度の運動会では新たな取組として、障害物競走と保護者・地域の方々にも参加していただいたパネルコンテストを実施しました。

当日の競技の進行は実行委員会を中心に生徒が中心となって運営いたしました。3年生のリーダーシップのもと、1・2年生が協力して取り組んでくれたと思っています。多くの生徒が結果の良し悪しを越えて、達成感を感じた行事となったようです。

当日の運営には、PTAの方々に多大な支援をしていただきました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。どうもありがとうございました。

なお、運動会実施後、保護者の方々を対象としたアンケートをとらせていただきました。多くの保護者の方々からご意見を頂戴いたしました。

「生徒主体の運営でとても良かった」「新しい企画があり、とても楽しめた」「子供の成長がみられる運動会だった」など、評価していただく声を頂戴すると同時に「もう少し種目の精選をすべき」「もっと敬老席をふやすべき」など、課題のご指摘も受けました。次年度の計画に生かしてまいりたいと思います。



ふれあい月間について

今月は東京都の全ての学校が「ふれあい月間」という位置づけで、生徒が抱える悩みや困っていることを積極的に解決するための取組をする月間でした。

具体的には、毎年、学期1回実施している「いじめのアンケート調査」を行いました。こうしたアンケートだけでなく、悩みごとがあったら直接、先生や保護者など自分が相談しやすいと思う人に声をかけ、悩みを聞いてもらい、よりよい解決方法を見つけ出すきっかけを作ってほしいと生徒には話しています。生徒には次のように話しました。

「普段、顔を合わせている人に悩みを打ち明けるといことは、恥ずかしいことと思ったり、自分が弱い人間だと思われてしまうのではないかと不安を感じたりすることもあると思います。こうした気持ちは、もっともなことだと感じますが、真剣に悩んでいることを打ち明けられて、そんなことでよくよくしているのか、弱いなどと思う人はいないと思います。何とか良い案を一緒に考えて、早くその悩みから解放してあげたいと真剣に考えてくれることと思います。万が一ですが、自分が真剣に悩みを相談したのにも関わらず、正面から受け止めてくれない人がいたら、そのような人とは、今後、距離を置いた方が良いでしょう。そして、そのような人に出会ってしまったら、落胆することなく、次の人を探す勇気をもってほしいと思います。必ず、親身になってアドバイスをしてくれる人に出会います。諦めないことがとても大切です。勇気をもって相談してみてください。」

7月14日（土）の全体保護者会で、悩みを抱える生徒の「SOSの出し方」についての映像を視聴した後、生徒からの悩みの相談を受けるに当たって保護者の方々へお願いしたいことについてお話をさせていただく予定です。

詳細は、別紙にてご案内申し上げますが、多くの保護者の方々のご参加をお願いします。



学期末を迎えて

来週は7月になり、今学期最後の月となります。7月20日の終業式までのわずかの期間で1学期のまとめをすることになります。

生徒たちは、自分の立てた今年度の目標の実現具合について、成果と課題について振り返ることになります。

夏季休業の前半は各学年とも三者面談を予定しています。三者面談は、生徒にとってはあまり期待する行事ではないようです。担任からは、できなかったことについて指摘され、保護者からは追い打ちをかけるように叱られるという場であるとの印象が強いようです。頑張れた点、評価できる点についての話が中心となるよう、ご協力をお願いします。もちろん、成長のために、今後努力してもらう必要があることもあると思います。この場合でも、どうすれば改善できるかについての話になるようにしていただければ幸いです。生徒が三者面談が待ち遠しいと思えるようになってほしいと願っています。

また、今後、今年度の府中第五中学校の教育活動について、保護者の方々からのご意見を頂戴する「前期学校評価アンケート」をお願いすることになります。ご多用中とは存じますが、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

交通事故の防止について

全都的にみると自転車事故をはじめ、子供の命にかかわる交通事故が増えています。交通ルールを守り、安全確保をするよう、ご家庭でもご指導をお願いいたします。

特に、横断歩道を渡る時も、ドライバーの目を見て、自分の存在を認識しているか確認すること、夕暮れや夜間など、歩行者が見えにくくなる時刻には、反射板等を着用するなど、自らの命を守る工夫をするようにお願いします。また、自転車は道路交通法上、車両ですので、原則歩道を走行することはできません。歩道を走行することが認められている場所を走行する際には、歩行者優先であることを忘れないようにしなければなりません。自転車に乗車中の事故は、加害者の立場になってしまうことがあることにも注意する必要があります。くれぐれも事故を起こさないように注意をしていただくようお願いいたします。



不審者対応について

6月26日（火）に富山県の小学校で発生した不審者侵入の事件を受け、27日（水）の朝の学級活動で、全生徒に対して、学級ごとに不審者の侵入した時の対処の仕方についての指導を行いました。これまでも、安全指導の年間計画に基づき、「不審者が侵入してきた場合を想定した訓練」を行ってきましたが、今年度も、地震・火災発生時の避難訓練とともに「不審者対応」についての訓練も実施してまいります。

また、何か緊急なことが起こった時に学校から連絡申し上げる際に有効なツールである「緊急連絡用メール」ですが、まだ、登録をされていないご家庭は、ぜひ登録をお願いします。

登録の申請等の手続きにつきましては、本校のホームページに掲載してあります。ご不明な点は本校副校長までお問合せください。